

# 川崎の男女共同社会をすすめる会通信 No.222

●連絡先 藤井光子 hymico@me.com ☎ 090-1843-4689 ●発行日2023年8月10日  
〒214-0003 川崎市多摩区菅稲田堤3-8-2-503 ●HP <http://web-k2.jp/ssk1985/>

## 2023 男女共同参画協働事業 非正規・中高年シングル女性をとりまく現状を みんなで考えましょう

ジェンダー平等と雇用問題

非正規・中高年シングル女性の現状とこれから  
女性の生きづらさの原因は？

生涯1億円の男女賃金格差  
女性は安心して生きていけるの？

10月14日(土)  
13:30~15:30  
第1・2研修室  
金井郁さん  
埼玉大学教授

後日配信あります。  
申し込みは裏面に。

ジェンダー平等と雇用問題

私の賃金低くないですか

11月19日(日)  
13:30~15:30  
多目的室  
佐藤ひとみさん  
わくわくシニアシングルス

！

『中高年シングル女性の生活状況実態調査』  
(2022年)  
から見えてくるもの  
わくわくシニアシングルス調査より

どちらの回もTALK&TALK

### ◆ 10月14日 金井郁さん 「ジェンダー平等と雇用問題」

1977年千葉県生まれ。  
埼玉大学人文社会科学部研究科教授、専門は労働経済論、ジェンダー論も。  
女性労働問題研究会 会員  
〈論文〉  
「非正規労働者『同一賃金』への道  
(ひろばユニオン 2022)」など多数

企業の今までの人事制度が『ケアする人』を職階の低いところに留め、賃金格差があっても当然とする仕組みになっており、それが少子化・経済状況の低下に連動していると警鐘を鳴らしている。

### ◆ 11月19日 佐藤ひとみさん 〈わくわくシニアシングルス〉

#### 「私の賃金低くないですか」

中高年シングル女性の自助グループ、2015年設立、都内を中心に活動を行っている。メーリングリストでの意見交換、SNSでの情報発信、社会保障制度や年金制度に関するセミナーの開催、実態調査や調査結果に基づいた政策提言活動なども行っている。2016年、50歳以上の单身女性を対象に「第1回中高年シングル女性の生活状況実態調査」22年8月に「第2回中高年シングル女性の生活状況実態調査」を行った。

代表の大矢さよ子さんは「中高年シングル女性の貧困は社会課題として取り上げられず、問題が渦の中。実情を社会に広めたいと思い報告書を作成した。調査結果を国や政治に届けて『支援の方向性を定めてほしい』ということを伝えたかった」と語っている。  
(東京都社会福祉協議会HPより)

### 2023年度版 ジェンダー・ギャップ指数

男女平等 日本125位 /146カ国 ↘

世界経済フォーラム (WEF) 6/21

- 政治参加分野 ↗138位 (前年139位)
- 経済 ↘123位 (前年121位)
- 教育 47位 ■ 健康 ↗59位 (前年は63位)

昨年の116位から大きく後退し、主要先進国 (G7) のなかで最下位。順位は2006年の公表開始以来最低に。▶政治が世界最低クラスの138位で、男女格差が埋まっていないことが改めて示されました。女性の首相が誕生しておらず、議員や閣僚に占める女性の割合が低いことが響いています。

▶また、同一労働における男女の賃金格差や、女性管理職が少ないことも足を引っ張っています。

すくらむ21  
まつり 6/25

4月 統一地方選挙があったけど

すすめる会主催企画

## なぜ、女性議員は少ないの？ 議員と語ろう

ジェンダー平等を実現するためには、女性議員の人数、もっと必要です。

5月23日すくらむまつりのチラシと案内状をもって、各会派をまわり参加を訴えました。

当日は3人の女性議員さんが会場に。27名が活発に語り合いました。

那須野<sup>あやか</sup>純花さん 日本維新の会 (幸 区)

高橋 美里さん 立憲民主党 (中原区)

小堀 祥子さん 日本共産党 (高津区)

今回のイベントのお知らせは、すくらむまつりプログラムと通信記事ぐらいいましたが、選挙直後でもあり関心が高かったようです。当日は予想以上の27名が参加、会議室は満席状態。活気あふれる雰囲気が始まりました。

### 参加された女性議員は3名。

25才最年少で初当選した那須野純花さん、高橋美里さんも初当選。小堀祥子さんは2回目の当選です。初当選のお二人は、まだ色々わからないことも多いそうです。

自己紹介から始まり、立候補したいきさつ、選挙活動の内容などが、とても分かりやすく、丁寧なお話から、女性議員という仕事がたいへん身近に感じられて、興味をもちました。

チラシを見て参加された方々は、タイトル後半の「議員と語ろう」に注目された方も多かったようです。そこで、自分の現在おかれている状況や、川崎市の施策等に対する意見、市政にむけての希望など、次々と発言が続きました。議員の方々も熱心にやりとりされ、いくつかの課

題や問題の共有も確認できたと思います。

しかしながら、タイトル前半にある「なぜ女性議員は少ないの？」のテーマになかなかたどりつけない感じがしました。

「すすめる会」も、会議室の壁に最新のデータや資料を掲示、新聞記事のコピー等を配布しました。参加者の方が、持ち帰って改めて周囲の方たちとこの問題を話し合っていたらと思っています。

すぐに解決できる課題ではないと思っている方が多いと思います。しかし女性議員を増やすと、これだけ皆が、生き生き暮らせるということ、どんな些細なことでもいいので体験したいと思います。女性議員が増えて、本当によかったという実感のかけらでも手に入れたい気がします。

今回思いがけず、たくさんの方々と話し合えたことが、今後の大きな目標への第一歩だと思います。(小林)

33市町村議会の中で、大磯町は14人中6人が女性、(42.9%)が当選、県内トップ。川崎市(16/60 26.7%) 13位 横浜市(22/86人 25.6%) 相模原市(10/46人 21.7%) 女性ゼロ議会は無くなった。

### 会場からの質問や意見も続々と

- 議員としてやりたいことは？ 普段は何をしていますか。
- 女性議員のつながり(女性議連)を作ったらどうか。
- 選択的夫婦別姓制度を早く実現してほしい。
- 党と自分の意見が違ったら？ 自分の意見を通して欲しい
- 女性差別撤廃条約選択的議定書について
- 子どもの医療費無料化、川崎はやっと15才までだけど

## 参加者の声 アンケート

●複数政党の議員の方と直接話が出来てよかったです。個人と党の政策とのギャップは大きいようですが、是非地域の声を国政に昇るよう力を発揮して欲しいと思います。

●市民のイベント（おまつり）などでこのような討論（意見交換）の場を作ることはいいことだと思います。気軽に参加でき、市民、NPO、職業などいろいろな視点から意見や問題を議員に伝えることで、市民レベルの問題解決ができるのではないかと思います。今後このような機会がふえるといいなと思います。

●（私の人生では）職業として政治家を志すということはまったく想像もしないことでした。しかし、今回、特に、新人議員さんのお話を聞いて、政治が身近な課題解決のひとつの方法になるのだと感じました。

ズーと議員をしなくても（世襲政治の問題もあるし）、人生のひと区間、政治家になったというのもアリでは。そのあとは違う道を探せばいい。そういう人がでてくると、政治が身近なものになるのでは。また、そういう人を応援する仕組みも必要ではと思いました。

## 〈議員と語ろう〉を終えて

今春の川崎市議選で、市議会の女性比率は26.7%・16人(60人中)になりました。2019年、前回比では1.7ポイント増です。

そもそもの候補者数をみると、自民党が21人の立候補者数のうち女性が2人で、女性の占める割合は9.52%、公明党が27.2%、日本維新の会が36.3%、立憲民主党が28.5%、日本共産党が54.5%、（国民民主党は2名の候補者

は男性）となっています。まだまだ、女性が議員どころか候補者になれない状況があるようです。

女性議員が増えると、今までの男性目線では気づかない、ないものとされてきた問題が政策に反映されることが期待されます。

多様性が求められる社会状況です。次の市議選では各党が女性候補者を増やすことを要望していきたいと思います。（すすめる会）



暑い夏をますます熱くする  
本のご紹介

## 「女性不況サバイバル」

竹信三恵子著 岩波新書

～コロナ禍は、「ケアする性」を直撃した一。世界各地で「女性不況」と課題視されたにもかかわらず、なぜ日本の女性たちの雇用危機は無いことにされ、放置されてきたのか。

社会に埋め込まれた「不可視化と沈黙」を生み出す6つの仕掛けを丹念に浮彫りにし、女性たちの懸命の模索をたどる～

果たして6つの仕掛けとは……

为什么呢か……（7/20発刊）

2023.11.18(土) 10:30～15:30  
ごえん楽市 会場決まりました！

中原市民館 第3会議室

チーム名

「来て、見て、知って！人権・平和・国際」  
詳細は追ってお知らせします。みんな来て  
ね！

すすめる会は展示参加

市民活動センター